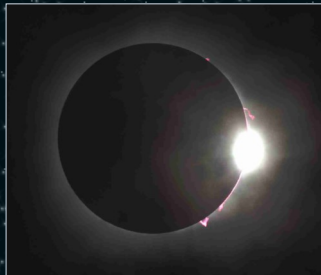


☆ ボランティアさんの一言 ☆

食中注意：今回は食中毒の話です。とはいっても暑い季節の衛生面の注意ではなく「食」という天文現象にはまってしまった人のことです。

月が惑星や恒星を、あるいは小惑星が恒星を隠すものや、木星の衛星同士の食、日食や月食などがあります。特に日食は、天文愛好者のもとより一般の方でも一生に一度は見たい大変魅力的な現象の一つです。一度見ると病みつきになる場合も結構あります。幸運なことに、この先10年程度の期間は、日本は日食を見る機会に恵まれています。天気次第ですが、2030年に北海道のほぼ全域で金環食が、2035年には群馬県のほとんどの地域で皆既食が見られます（くらぶちこども天文台は好条件の場所です）。2024~2035年の間に全世界で起こる日食（部分日食は除く）と月食（部分月食も含む）の回数を調べてみましょう。すると、皆既または金環日食が17回、一方月食は11回で、日食がまれな現象と思われがちですが、月食の方がかなり少ないことが分かります。 by 星のおじさま



※写真は、今年4月8日に起こった日食の画像です。（メキシコ、マサトランで観測）

開館時間：15：00～21：30

☆ 7月の見頃の時間は19:30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・X (Twitter) にて ↓



Web



Facebook



X



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉渕町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2024★7月の星空

つゆあまどおがっあめ
梅雨明けが待ち遠しい7月がやってきました！雨
くもながみよぞらほし
やら曇りやらで長らく見えなかった夜空ですが、星
こくいっこくきせつすすまひがし
は刻一刻と季節を進めています。いつの間にか東
そらざひきあまがわたかのぼ
の空に【こと座】のべガ率いる天の川が高く昇って
ことし たなばた おりひめ ひこぼし
います。さて、今年の『七夕』は織姫さまと彦星さ
すがた み
まが姿を見せてくれるでしょうか。



今月の星座

北

西



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

つゆあまどおそらもようまなつせいざたんじょうせいざ
 梅雨明けが待ち遠しい空模様はいつの間にか夏の星座がメインに。誕生星座
 は、【おとめ座】【てんびん座】【ぎそり座】が見ごろです。北斗七星も高く
 あがり、春の星座探しもまだまだ楽しめるでしょう。また、東には
 なつのだいさんかくはしなつてんたいのぼまあまがわ
 夏の**大三角**に始まる夏の天体が昇っています。みなさんお待ちかね、天の川
 どうらいつきあすくひまんてんほし
 シーズン到来で、月明かりの少ない日は満天の星が楽しめるでしょう！

星空トピックス『織姫さまの涙』

がつほしなにおも
 さて、7月の星といえば何を思い浮かべるでしょうか。うーん、と
 かんがみながつたなばた
 考えている皆さん！7月といえばそう、『七夕』です。

◇ そもそも晴れる？七夕の夜は星がみえる？

たなばたたんざくねがかさかはつまつ
 七夕といえば、短冊にお願いごとを書いて笹の葉に吊るすお祭り。
 ちゅうごくぶんかならじだいにほんつた
 中国の文化が奈良時代に日本に伝わったとい

われています。『たなばた』という言葉も、
 ひこほしつかさどこうさくとうじことば
 彦星さまが司る耕作（当時の言葉で『種
 おりひめつかさどはたお
 物：たなもの』）と、織姫さまが司る機織
 とうじことば
 り（当時の言葉で『機物：はたつもの』）で
 ことば
 『たなばた』という言葉になったという



えどじだいぶんげんのこ
 江戸時代の文献が残っているそうです。と
 がつかにほんつゆじき
 いても、7月7日は日本ではまだまだ梅雨の時期だったりしますよ
 じつたなばたきゅうれきじっさいがつぎょうじ
 ね。実は、七夕というのは旧暦のことで、実際は8月の行事なのです。
 がつかひづけのこげんざいにほんつゆなか
 しかし『7月7日』という日付だけが残り、現在の日本では梅雨の中の
 ぎょうじきゅうれきてんどうのこ
 行事になってしまいました。しかし、旧暦の伝統が残っているところ

いまたなばたまつがつおこな
 は、今でも七夕祭りを8月に行っている
 ちいきくらぶち
 地域もあるんですよ！もちろん倉渚も！し
 たなばたあめいちねんいちどあ
 かし、七夕の雨には『一年に一度会える
 よろこおりひめながうれなみだ
 い
 喜びで織姫さまが流す嬉し涙』という言
 つたあめふくも
 い伝えもあるんです。雨が降っても、雲の
 うえよろこあふたりすがたう
 上で喜び合う二人の姿が浮かびますね。
 ことし
 さあ、今年はどうなお天気になるでしょう

